

学習の手引き

東みよし町立中学校

1 はじめに

「あなたの夢は何ですか。」「あなたが将来就きたい職業は何ですか。」中学校では、自分の将来を考える機会が増えるものです。そして卒業後、自分の選んだ進路に進みます。夢に向かって進路希望を実現するためには、この3年間に計画的な学習の積み重ねをして、心や体の成長とともに学力を高める必要があります。それには、学校での勉強も家庭学習もどちらも大事となるのです。



そこで、学習成果を上げるための手立てになればと考え、この手引きを作成しました。まずは実践してみませんか。また、家庭でも相談しながら取り組んでみませんか。



職場体験学習の様子

2 学校での勉強について

(1) 授業の取り組み方

いうまでもなく、授業が基本です。毎時間の授業を大事にすることが、基礎・基本の定着への近道であり、応用力をつけるための原点です。何となく50分を過ごすのも、集中した50分を過ごすのも、同じ50分とはいえ得るものには大きな違いがあります。そこで、毎時間の授業を大事にするために、次の「5つのチェック」を心がけてみましょう。

《5つのチェック》

① チャイムが鳴る前に着席する。

授業への態勢が整っていないと、スタート時点から慌ててしまいがちです。

チャイムと同時に、授業に臨む気持ちや姿勢を切り替えましょう。

② 準備物・提出物を忘れない。

教科書やノート、筆記用具等、授業に必要な物は休み時間に整えておきましょう。やる気があっても道具がなければ満足な学習成果は得られません。

また、宿題等の提出物に地道に取り組むことで、反復学習ができ、粘り強く学習する姿勢が育ちます。

③ 授業に集中する。

気を緩めると何を勉強しているのか聞き漏らしてしまいがちです。漏らしてしまった学習内容の上に学習を積み重ねようとしても、理解することは難しいですね。ひと言も聞き漏らすまいという気持ちで取り組みましょう。



④ ノートを工夫する。

わかったつもりでいても時間が経つと忘れてしまうことがあります。あとで復習するときの参考にするためにも、授業内容をノートに記しておきましょう。また、板書にない事柄でも、先生のひと言には大事な内容が含まれています。聞き逃さず書きとめておきましょう。



⑤ 発表・活動に積極的に参加する。

意見を交わしたり自分からすすんで取り組むことで、新たな気づきがあったり、より深く学習することができたりします。また、集中力を切らさないことにもつながります。



(2) テストの受け方

学習した内容の定着度や、自分の今後の課題をはっきり知る機会の1つに、テストがあります。中学校で行っているテストは大きく分けて定期テスト・校内テストの2種類です。

定期テストとは、各学期ごとにあるテストです。1・2学期にはそれぞれ中間テストと期末テストの計4回、3学期には学年末テストが1回実施されます。それぞれの期間内に学習した内容がテスト範囲となって、授業内容を振りかえることができます。

校内テストには、夏休みなどの長期休業明けに行われる課題テストや、中学校に入学してから現在までの全範囲から出題される実力テストがあります。継続した学習の積み重ねが問われる内容となっています。

そこで、悔いなく自分の実力を100%発揮するためには、まずテストを受けること自体に不安を感じないようにすることが必要です。テストの受け方を知らなければ、テスト中におろおろするかもしれませんし、逆に受け方を心得ていれば、落ち着いて内容に集中できることでしょう。小学校時代とは少し違うこともあります。留意点を確認し、心も頭も準備万端の状態で見守りましょう。

《テストを受けるときの留意点》… 受験(受検)と同じ

① 机の中はからっぽにし、机の横に何も吊らない。

② 机の上には、必要な物だけ置く。

※鉛筆(シャープペン)2~3本・消しゴム・定規・コンパス
(ころころ転がしたり、落としたりしないこと。)

③ 開始時間より少し前には、きちんと着席しておく。

④ 問題と解答用紙がそろっているか、確認する。

※小学校と違い、中学校のテストでは、問題用紙と解答用紙が別々になっていることが多い。

⑤ 解答用紙には、まず最初に「組・番・氏名」を必ず書き、落書きはしない。

⑥ 先に問題全体を見渡し、取り組みやすい問題から解く。

※1つの問題で悩みすぎないこと。

⑦ 時間の配分を考えながら、解く。

⑧ 目線は、自分の机の上のテストか、前方にある時計だけに向ける。

※人のテストを見ない。きよろきよろしたり不正行為と疑われるようなことはしない。



- ⑨ 時間いっぱい、取り組む。
※時間が余ったら、繰り返し見直す。粘り強く最後まで解き答えを絞り出す。
- ⑩ 正しい姿勢を保つ。
※机に突っ伏したりもたれたりしていると、眠くなる。また、真剣にしていないのではと勘違いされやすい。
- ⑪ 終了のチャイムと同時に、速やかに鉛筆(シャープペン)を置く。

さあ、これでテストに臨む心づもりはばっちりです。あとは自分の持てる力を存分に出すだけ。ただし、テストを受けたらそれでよし、ではありません。大事なのは、テストとは自分の実力を知ることはもちろん、さらにその実力を高めるためにあるものだということを、しっかり心に刻んでおくことなのです。受けたテストは、必ず自分の手元に返ります。そのとき、あなたはどうか…！もちろん、間違えた問題やあやふやだった問題を、納得するまで繰り返し繰り返し、直しますよね。ここでうまれる、粘り強くがんばり抜く態度が、将来仕事をする際にも、生活のどんな場面にも、絶対不可欠なのです。

どうか、自分を高める努力を怠らない誠実さを、テストを含めたあらゆる学校生活から学び取ってほしいと願っています。

3 家庭学習について

人は忘却する生き物であり、繰り返し学習することで記憶します。授業内容を深く理解し定着させるために、家庭学習が大きな役割を果たします。

中学校では、家庭で毎日学習する習慣を身につけ学習成果を上げるため、全学年共通の家庭学習課題として、「自主勉強ノート」と「生活ノート(三加茂中はあゆみ・三好中は清明)」に取り組んでいます。「自主勉強ノート」では国・数・社・理・英の教科学習力を高め、「生活ノート」では1日を内省し文章化しています。



次に挙げる(1)「家庭学習のポイント」や(2)「自主勉強ノートの活用の仕方」(3)「教科別学習のポイント」を参考にして、自分にあった学習方法を見つけ、工夫しながら取り組みましょう。また、家庭でも相談して学習に適した環境作りに協力してもらいましょう。

(1)家庭学習のポイント

- ① 1週間の生活リズムをつかもう。
中学生になると、部活動や各種塾等で、毎日忙しい生活を送る人も多いはず。1週間の生活の流れを確認して、家庭学習に費やせる時間の見通しを立てましょう。
- ② 学習計画を立てよう。
地道に毎日取り組める、着実な計画にしましょう。また、各教科のバランスや自分の得意不得意科目も考慮した計画にしましょう。
- ③ 学習方法を工夫しよう。
本をただ見るだけ、読むだけ、写すだけでは学習力は高まりません。「見ながら声に出して言う」とか「声に出して言いながら書く」等、五感をしっかり働かせましょう。

④ 自分で調べよう。

わからない箇所は、すぐ答えを見たり誰かに聞きたくなるものです。しかし、楽をして得た知識は、忘れるのも早い。辞書や資料集を使って、可能な限り自分で調べてみましょう。

⑤ 宿題・ワークはその日のうちに取り組もう。

宿題やワークは、学習内容の再確認ができると同時に、自分の理解度を知る手段の1つです。しかも反復学習することによって基礎・基本が定着し、応用力をつける原動力にもなります。後回しにせず、必ず済ませましょう。

⑥ 「～しながら」学習はやめましょう。

テレビを見ながら、とか、メールしながら、ゲームをしながら片手間に、といった勉強では集中力が散漫になるため、効果は上がりません。静かに勉強に集中できる環境を整えましょう。



(2) 自主勉強ノートの活用の仕方

① 日付・学習時間を記入しよう。

記入することで、家庭学習時間の意識付けができます。どれくらいの時間をかけたらどれくらいの学習ができるのか、自分を知りましょう。習慣化されれば、上手な時間の使い方ができるようになります。

② 1週間単位で5教科全てに取り組もう。

時間のかからない、楽な勉強に逃げたくなるときもあります。ここが辛抱のしどころです。自分の苦手な教科も必ず取り入れてこそその家庭学習、例えば、曜日によって教科を変えるのも一つの手です。

(例：1週間の曜日順に、月：国、火：数、水：社、木：理、金：英、土：数、日：英)

③ 1日1ページ以上毎日取り組もう。

家庭学習時間の目安は、1年1～2時間、2年1.5～2.5時間、3年2～3時間です。中学生は1ページの学習に、およそ30～50分費やすようです。自主勉強ノートで、最低学習時間は確保できます。

④ カのつく勉強をしよう。

ただ書き写すだけの勉強では、学習成果に進展は見られません。授業で解いた問題を再確認したり、授業内容をまとめ直したり、また問題集をどんどん解いていくノートにしましょう。黙々と取り組むよりも時には声を出しながら、目・耳・口・手を同時に働かせる学習は、効果大です。

⑤ 内容を進化・深化させよう。

毎回同じことの繰り返し学習では、定着はしてもそれ以上の成果は得られません。少しずつ内容を変えたり、増やしたりして、着実に進歩していく学習を心がけましょう。

(3) 教科別学習のポイント ※教科ごとに別紙に、まとめています。